

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-87	中学校	国語科	国語	第2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17教出	国語017-82	伝え合う言葉 中学国語2		

1. 編修の基本方針

「学びのチカラで人と社会を未来へつなぐ」

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。



言葉との出会いが、未来を共創する

言葉で考え、言葉で理解し、言葉で伝え合う。それが生きる力の源です。
多様な価値観をもつ他者ととともに、新しい未来を切り拓く力を育むことを基本方針とし、
次の三つの学びの実現を目指しました。

特色1

「学び」が
見える

自覚的な学びをいざなう

教材で身につけたい力や学習活動の重点を明確に示し、生徒の主体的な学びを引き出すための「学びナビ」を設けました。

生徒が自分自身の力で学びを見通し、振り返ることができ、学習に取り組む意欲を引き出します。

特色2

「学び」が
深まる

確かな言葉の力を育む

予測困難な時代を生きる生徒たちには、多様な課題に向き合い、解決する意欲や力が求められます。そうした現代の課題を捉えた教材群を選定しました。

豊かな言葉をとおしてさまざまなものの見方・考え方をすることで、国語科における資質・能力を育み、深い学びを実現します。

特色3

「学び」が
つながる

その先の未来に生きる

持続可能な社会を実現するために、教科書での学びを日常生活や他教科等の学習に生かし、生徒自身の成長へつなげます。

多様な価値観をもつ他者との出会いや交流をとおして、自分の言葉で伝え合う協働的な学びが、新しい未来を生きる力となります。



特色

1

自覚的な学びをいざなう

「学びが見える教科書」

学びを見通す

【目標】

生徒が学習の見通しをもてるよう、教材の冒頭に、指導事項にそった学習目標を明示しています。

- *「知識及び技能」を主とした目標
- *「思考力、判断力、表現力等」を主とした目標

【学びナビ】

教材を読み深めていくための視点を、教材の前に示すことで、生徒は学びへの明確な視点をもって、学習に取り組むことができます。

【読むこと（みちしるべ）】

- 学習指導要領の学習のプロセスに即した教材の手引きを掲載しています。
 - *内容を捉えよう…**構造と内容の把握**
 - *読み深めよう…**精査・解釈**
 - *自分の考えを伝え合おう…**考えの形成、共有**
- 主体的に学習に取り組む態度を育む、下記のような問いを設置しています。
 - *「学びナビ」で取り上げた内容に関連する問い
 - *他領域との複合的な問い
- 生徒を主体的・対話的で深い学びにいざなうため、下記のような「参考」を掲載しています。
 - *問いを考えるための着眼点
 - *生徒によるノートまとめ方の例
 - *生徒による会話例

【話すこと・聞くこと／書くこと（学習活動）】

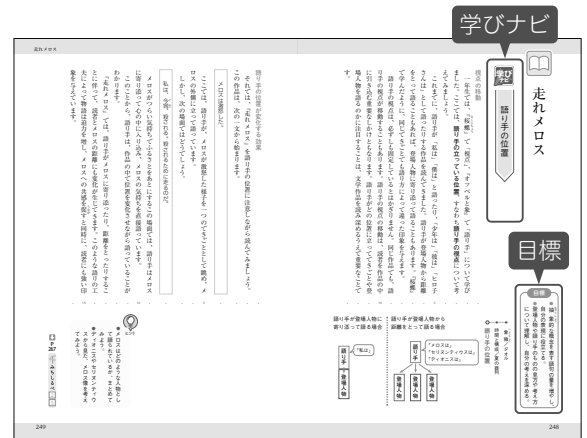
- 学習指導要領の学習のプロセスに即して言語活動を展開しています。
- 学習活動の流れや生徒の話例・文例と学習活動のポイントを対応させて、活用しやすく示しています。

【振り返り】

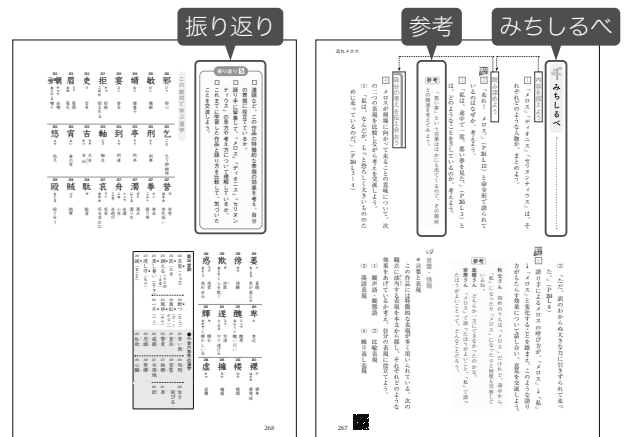
学習目標に即した、次の学びにつながる振り返りを掲載しています。

- *「知識・技能」「思考・判断・表現」の振り返り
- *「主体的に学習に取り組む態度」の振り返り

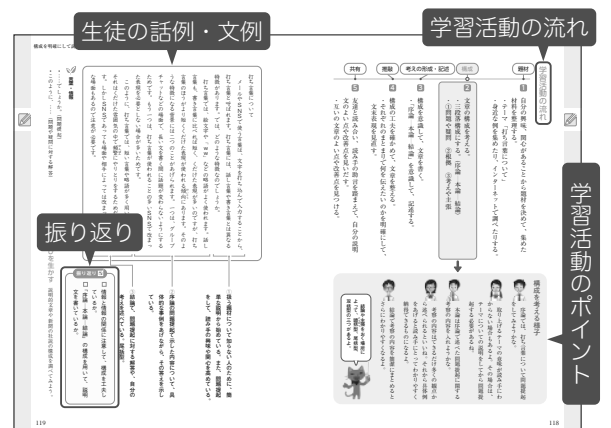
学びを確かめる



読むこと：P248・249「走れメロス」



読むこと：P267・268「走れメロス」



書くこと：P118・119「構成を明確にして説明文を書く」

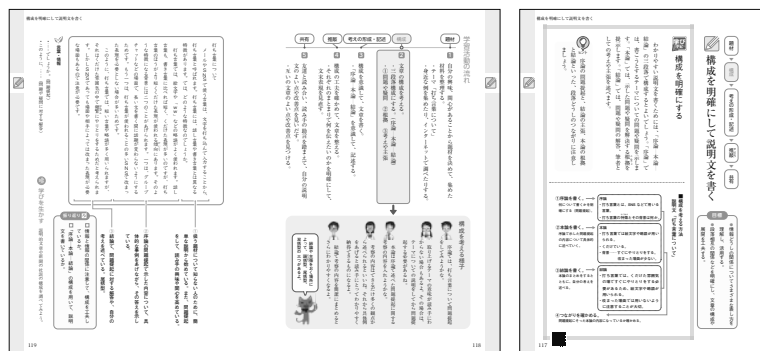


特色

2

確かな言葉の力を育む

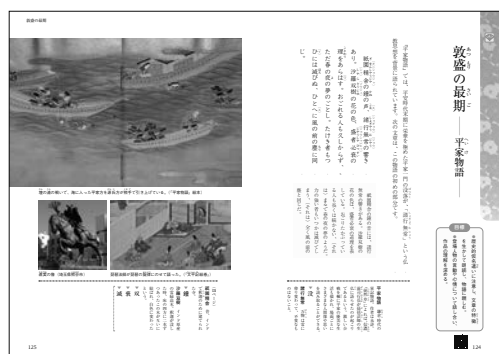
「学びが深まる教科書」



P117～119「構成を明確にして説明文を書く」

●主体的で対話的な学びを引き出す教材

- ・予測困難な時代を生きる中学生が向き合う、多様かつ今日的な課題を取り上げた教材を設定しました。自らの言葉で考え、表現し、他者と交流して協働的に課題を解決する力を養います。
- ・「読むこと」教材の「みちしるべ」や、「話すこと・聞くこと」教材の「学習活動の流れ」などで学習の重点を示し、生徒たちが見通しをもって効果的に学習を進められるようにしています。



P124・125「教盛の最期——平家物語——」

●確かな言語能力、豊かな言語感覚を養う教材

- ・文法や言語に関する知識を獲得するだけでなく、日常の言語生活に即して理解を深め活用できるよう、「言葉の小窓」「文法の小窓」といったコラムを設け、詳しい解説とあわせて学べるよう、構成や内容を工夫しています。
- ・多様な話題や日本を代表する作家の作品などにふれるとともに、本や図書館の活用や知識の習得をととして、自らの読書生活を深め言語感覚を高められるよう構成しています。



特色

3

その先の未来に生きる

「学びがつながる教科書」

●世界につながるSDGs教材

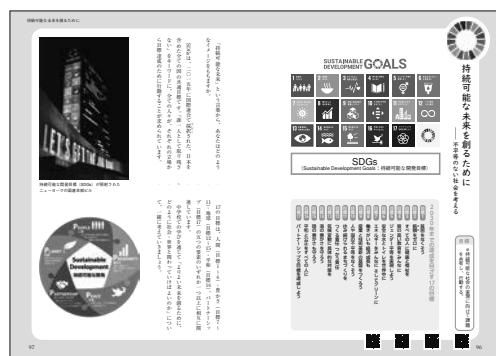
SDGs教材『持続可能な未来を創るために』を設けました。生徒が社会や日常生活の中から課題を見だし、解決のために自分自身ができる取り組みについて、考えを深めることができます。

●社会につながる情報・メディア教材

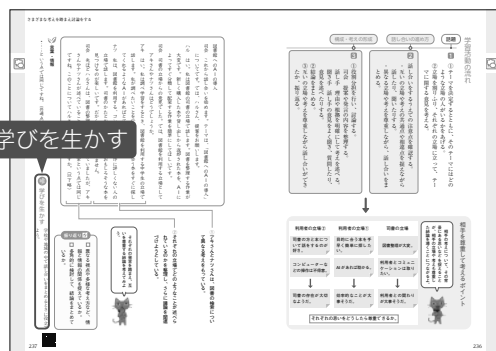
写真や広告などを扱う「情報・メディアと表現」を設けました。文字と文字以外の表現をあわせて読解することで、生活の中にあふれる情報との向き合い方を考えることができます。

●実生活につながる活用例「学びを生かす」

「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材末尾に、「学びを生かす」という項目を設けました。学んだことを国語の授業内にとどめず、他教科の学習や学校生活・社会生活にどのように生かすことができるかを示しています。



SDGs教材：P96・97『持続可能な未来を創るために』



「学びを生かす」：P236・237『さまざまな考えを踏まえ討論をする』

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	*「ポプラの葉」と「わたし」を比べることをとおして、「わたし」の生き方を考える詩『名づけられた葉』にふれることによって、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	前見返し
一 学びを広げる	* 鮮やかな「虹」のかかる風景から人間の「幸福」について読む教材『虹の足』をとおして、真理を求める態度や豊かな情操を培うことができるよう工夫しました。〈第1号〉 * 「情愛」「真実」「死」といった中学生に身近でありながら、深遠な意味をもつ作品『タオル』を読むことをとおして、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるよう工夫しました。〈第2号〉 * 『新聞の投書を書く』において、新聞の投書を書く活動の例文として「なぜ交通ルールがあるのか」を題材として取り上げることで、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう工夫しました。〈第3号〉	P16～20 P22～37 P39～41
二 論理を捉える	* 日本の花火の特性と、各国の花火文化の相違に目を向ける教材『日本の花火の楽しみ』をとおして、わが国と郷土を愛する態度を養うとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこともできるよう工夫しました。〈第5号〉 * 世界文化遺産に登録された富士山の、保水の仕組みを追究していく過程を理解する『水の山 富士山』をとおして、幅広い知識と教養を用いて、真理を求めて、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう工夫しました。〈第1号〉〈第4号〉 * 「わが家の災害対策」について観点を明確にして伝える活動『課題を設定して伝える』をとおして、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるよう工夫しました。〈第3号〉 * 「手紙・メールを整える」において「職場体験学習のお礼状」を書く活動をとおして、豊かな情操と道徳心を培い、勤労を重んずる態度を養えるよう工夫しました。〈第1号〉	P48～55 P56～62 P63～65 P67～70
三 自己をひらく	* 試練を乗り越えて生きる筆者の文章『夢を跳ぶ』を読むことで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を育むことができるよう工夫しました。〈第3号〉 * 「救急車を有料化すべきだ」というスピーチを取り上げ自分の考えをまとめる活動『相違点を明確にして聞く』をとおして、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるよう工夫しました。〈第3号〉 * SNSを利用した生活や人間関係を見つめ直す教材『SNSから自由になるために』をとおして、豊かな情操と道徳心を培えるよう工夫しました。〈第1号〉	P74～81 P83～85 P86・87
四 情報を捉える	* 「持続可能な未来を創るために」では、「障害者」や「LGBT」に関する意見や新聞記事を読むことをとおして、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、社会的な弱者や性的少数者について理解を促すことで、豊かな情操と道徳心を培えるよう工夫しました。〈第1号〉〈第3号〉 * 100年後の未来に日本が世界の平和と繁栄に貢献することを訴えた文章『100年後のみなさんへ』を読み、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう工夫しました。〈第5号〉 * 被災地で生活環境の改善に取り組む筆者の姿から、社会の中で働くことについて考える教材『紙の建築』をとおして、職業及び生活との関連を重視し、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう工夫しました。〈第2号〉〈第3号〉	P96～105 P104・105 P106～115
五 古典を楽しむ	* 『平家物語』『枕草子』『徒然草』『論語』という、生徒が興味をもって接することができるような作品を厳選するとともに、図や写真を掲載するなどして、わが国と中国の本格的な伝統文化にふれることができるようさまざまな工夫を施しました。〈第5号〉 * 教師である主人公が巻きおこすさまざまなできごとを読む教材『坊っちゃん』をとおして、自主及び自律の精神や職業及び生活との関連について考える態度を培い、また、日本を代表する作家の名作を読むことによって、わが国の伝統文化を尊重する態度を養うことができるよう工夫しました。〈第2号〉〈第5号〉	P124～133 P134～142 P144～147 P148～163
六 想像を広げる	* 日本の優れた詩歌、中でも近代の短歌にふれる教材『短歌の味わい』をとおして、わが国の伝統と文化を尊重する態度を養うことができるよう工夫しました。〈第5号〉 * 生きるうえでの倫理や正義の問題を考える作品『夏の葬列』を読むことをとおして、正義と責任、公共の精神に基づいて主体的に社会参画に寄与する態度を養うことができるよう工夫しました。〈第3号〉 * 「映像作品の表現を考える」をとおして、漫画と映像の表現手法の違いを手がかりに考えるなど、創造性を培えるよう工夫しました。〈第1号〉〈第2号〉	P166～173 P174～186 P188～191
七 関係を考える	* 人間の動物に対する態度を考えていく教材『ガイアの知性』をとおして、真理を求め、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう工夫しました。〈第1号〉〈第4号〉 * 「確かな根拠をもとに意見文を書く」において、「学校に自動販売機は必要か」をテーマとして取り上げることで、公共の精神に基づいて主体的に社会参画に寄与する態度を養うことができるよう工夫しました。〈第3号〉	P196～207 P209～211
八 考えと向き合う	* 「学ぶ」という人間においてもっとも特徴的で知的な姿勢について考える教材『学ぶ力』を、進路選択の意欲、学習意欲の高まる時期に読むことをとおして、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、職業と生活との関係を捉え直す態度を養えるよう工夫しました。〈第1号〉〈第2号〉 * 「さまざまな考えを踏まえ討論をする」をとおして、討論の中で相手の立場・考えを尊重することがよりよい結論を導くことを理解することで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養えるよう工夫しました。〈第2号〉 * 「社会生活と言語コミュニケーション」をとおして、言語コミュニケーションで大切な四つの要素を理解することで、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう工夫しました。〈第3号〉	P226～234 P235～237 P238
九 表現を味わう	* 優れた表現で書かれた詩『豚』にふれ、幅広い教養を身につけたり豊かな情操を育んだりできるよう工夫しました。〈第1号〉 * 「友情」「真実」「死」といった中学生に身近でありながら、深遠な意味をもつことを素材とした作品『走れメロス』を読むことをとおして、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるよう工夫しました。〈第2号〉 * 「『連作ショートショート』を書く」において、意外な組み合わせの言葉を作り、想像を広げて短い物語を作る中で、豊かな情操と道徳心を培うことができるよう工夫しました。〈第1号〉	P244～247 P248～268 P270～273
付録	* 「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」での語彙のまとめを活用し、日常用いる言語について実践的な知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養えるよう工夫しました。〈第1号〉	P334・335 P336・337

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学習・指導についての工夫

専門家による校閲を受け、全ての人にとっての学びを保障する「ユニバーサルデザイン」の観点に立って編修しました。

学習に適した書体の使用

活字は、文字としての美しさを考慮しながら、読みやすく、学習に適した書体を用いています。

本文の明朝体やゴシック体は、画数と字形の関係など、漢字学習も考慮した字体を独自に開発しました。また、ユニバーサルデザインに対応した独自の教科書体や、書写教科書筆者の手書き文字（硬筆）を使用し、書くことの習熟に対応しています（巻末の「小学校六年生で学習した漢字」）。



教育出版の明朝体



一般的な明朝体

特別支援教育への対応

各教材での学習内容の重点の明示のほか、紙面のレイアウトでも、文字組みには行間に余裕をもたせたり、紙面の要素が明確になるように区分したりして示すなど、特別支援の観点に対応して教科書全体を構成しています。

カラーユニバーサルデザイン

色調のバランスだけでなく、形のうえでも区別しやすいよう工夫したり、色による指示を含んだ設問や色に基づく活動を避けたりして、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに対応しています。

紙面上のポイントを明示

領域や学習の重点を示すアイコンやマーク、デザインを施し、内容の把握が容易となるよう工夫しています。



話すこと
聞くこと



書くこと



読むこと



情報・メディア
と表現

異校種間の連携

1年生冒頭には入門期教材を設け、小中間の円滑な接続を図れるようにしています。さまざまな思考を導く教材学習では、段階的に評論文、論説文の教材を配置しているほか、学年ごとの学習の確認としての「学びのチャレンジ」など、中学校から高等学校へとつなげる学びにも対応しています。

個別最適な学びへの対応

生徒一人一人の実態に応じた学びの実現を目ざし、さまざまな工夫を施しています。

「学びナビ」では論理展開を図解したり、思考の方法を図式化して示したりしています。また、「読むこと」教材の「みちしるべ」では、生徒による会話やノートのまとめ方の例を示しています。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材、「読むこと」の説明的文章教材では、文型・語型や論理表現、学習用語などの汎用的な知識を「言葉・情報」として取り上げています。また、巻末にその一覧を示すことで、個々の教材と体系的なまとめの両方を活用しながら、学びを深めることができます。

デジタル機器を使用した学習への対応

デジタル教科書の利便性を向上

教科書と同内容で、特別支援に資する機能を備えた学習者用デジタル教科書や、そこに機能や資料を追加した学習者用デジタル教材・指導者用デジタル教科書（教材）を発行します。デジタル教科書がより効果的で使いやすいものになるよう工夫しています。デジタル端末での視認性を考慮し、本文の行間を広げることで、ルビ等を見やすくしました。また、授業での利便性を高めるため、文の切り取り機能を加えました。

「まなびリンク」との連動

紙面上の二次元コードを通じた、ウェブサイトで参照できる資料等の充実により、学習への意欲を高め、学びを活性化し、確かなものにすることができます。（例：教材理解のための補足資料・画像・動画等）



学習者用端末の活用

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読む」「情報・メディアと表現」など、各領域等の学習内容に応じて、学習者用端末を効果的に活用できる活動を設定しました。



その他

カリキュラム・マネジメントへの対応

「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材を中心に、他教科の学習に合わせた柔軟な扱いが可能になるよう、教科間の円滑な連携を図れるよう考慮しています。他教科の学習という実際の言語活動に活用されることで、実生活で生きてはたらく言葉の力を育むことにつながります。（例：「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材の「学びを生かす」）

人権上の配慮

社会の多様性を踏まえ、人権を尊重し、あらゆる差別をなくすため、イラストや図版も含め教科書内の表現を工夫しています。



編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-87	中学校	国語科	国語	第2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17教出	国語017-82	伝え合う言葉 中学国語2		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色

1

自覚的な学びをいざなう

「学びが見える教科書」

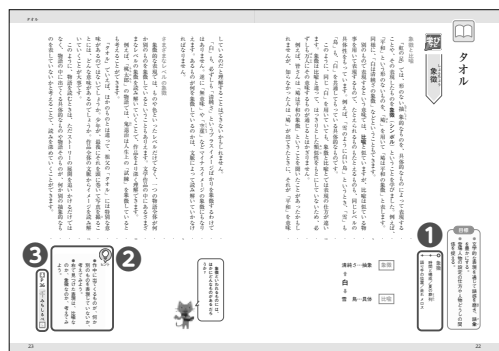
学びナビ

教材を読み深めていくための視点を教材の前に示すことで、生徒が学びへの見通しと期待感をもてるよう、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。

■読むこと

読み深めるための方法を解説

教材をとおして身につけたい思考の方法を取り上げ、解説しています。
学年の中で、系統的な学習を行えるように配置しています。



P22・23『タオル』

①学びナビマップ

学習の現在地を表示。
既習事項や今後の学習と合わせて確認できます。

②ヒント

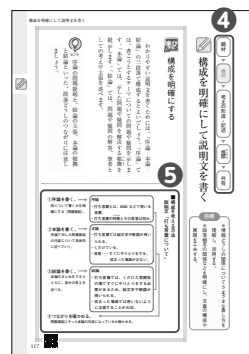
「学びナビ」を生かして教材の理解を深めるためのヒントを掲載しています。

③みちしるべ (手引き) 関連設問

「学びナビ」に関連する設問を明示。学びをつなげます。

■話すこと・聞くこと

■書くこと



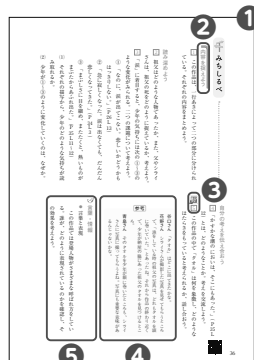
P117『構成を明確にして説明文を書く』

④学習活動の流れと重点の明示

⑤思考の方法の図式化 (見える化)

みちしるべ

「学びナビ」を踏まえた学習の手引きを設置し、生徒が自分の力で読みを深めて伝え合う、主体的で協働的な学びの実現を目指します。



P36『タオル』

①学習のプロセスに即した構成

- ・内容を捉えよう…構造と内容の把握
- ・読み深めよう…精査・解釈
- ・自分の考えを伝え合おう…考えの形成、共有

②重点指導事項の明示

その教材での最重点指導事項に対応した学習活動を見た目にもわかりやすく示しました。学習の自覚化につながります。

③「学びナビ」に関連する問い

「学びナビ」で学習した読みの観点を活用する問いを設定しています。

④生徒の学びに寄り添う「参考」

- ・問いを考えるための着眼点
- ・生徒によるノートのとめ方の例
- ・生徒による会話例

⑤言葉・情報

語彙を豊かにしたり、文章の中の情報を理解したりするための、言葉や表現を取り上げ、自分の考えの形成に生かせる着眼点を示しています。

「主体的・対話的で深い学び」を実現する教材

- ・言葉の力を着実に高めるため、指導事項や学習活動の重点を明確にし、学習する内容を段階的に設定しています。
- ・各単元では、「思考力、判断力、表現力等」領域の教材を軸に、読書、言語、漢字等の教材をバランスよく組み合わせ、さらに年間でも領域・指導事項の偏りがないように構成し、反復的、螺旋的に言語力を高めることができます。
- ・生徒たちはさまざまな話題・題材を取り上げた文章や教材にふれることにより、論理的な思考、感性、情緒、コミュニケーションの基礎となる「言葉」そのものに立ち止まり、言葉を意識的・自覚的に用いることのできる力を育てます。

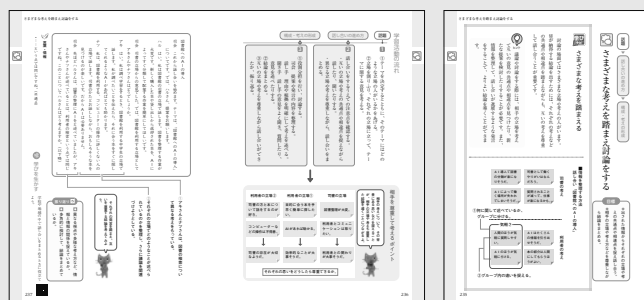
■■■■「思考力、判断力、表現力等」の教材について■■■■



思考に支えられた表現力を培う

「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材

- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、学習活動の流れと重点となる指導事項のつながりを明確に示し、他者の表現を受容し、自らの表現力を高める構成にしています。
- ・論理的思考力や語彙力、情報活用能力の向上を支えるさまざまな表現を「言葉・情報」として取り立て、言語力の基礎的な力を培うようにしています。



P235～237「さまざまな考えを踏まえ討論をする」



豊かな読み、論理的な読みの力を高める「読むこと」教材

- ・学習指導要領の指導事項の重点を、学習のプロセスの順に設定し、年間の学習が進むにつれて、読む力の高まりを実感できる構成にしています。
- ・現代の生徒たちがもつ課題を捉えた教材を選定。豊かな言葉をとおしてさまざまなものの見方・考え方を捉えることにより、国語の資質・能力を育み、深い学びを実現します。

〈文学的な文章〉

- ・新たな言葉の世界と出会い、読むことの楽しさを味わうとともに、自分自身について考えたり、他者との関わり方や、自分を取り巻く社会に目を向け、人としての生き方について学んだりすることができる作品を取り入れています。

〈説明的な文章〉

- ・現代的で多様な話題を取り上げ、文章内容を的確に捉える力、論理的に文章を分析し、考える力を養う教材を設定しています。



上：P264・265『走れメロス』
下：P198・199『ガイアの知性』

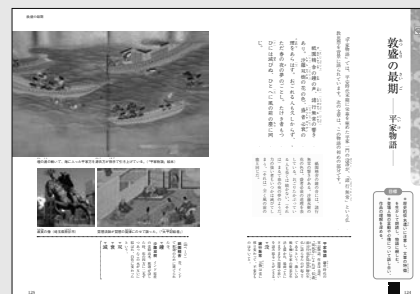
■■■■「伝統的な言語文化」の教材について■■■■



古典世界の豊かさを学ぶ 伝統的な言語文化教材

- ・長く親しまれてきた昔話と古典とのつながりを紹介するなど、言語文化を楽しみ、継承する意義を実感し、自らの言語感覚を豊かにできるような作品を選定しました。
- ・作品世界の理解を深める写真や絵画、図版などを掲載し、視覚的にも古典の世界へいざなわれ、享受できるよう工夫しています。

P124・125『敦盛の最期——平家物語——』



その先の未来に生きる 「学びがつながる教科書」

授業にとどまらない学びを実生活や未来を見つめる視点につなげる

■読みを深め協働的な学びを促すSDGs教材

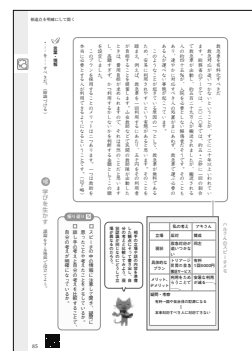
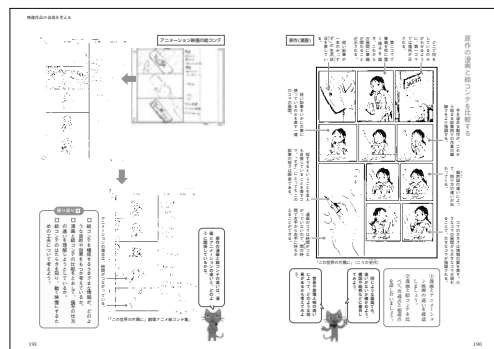
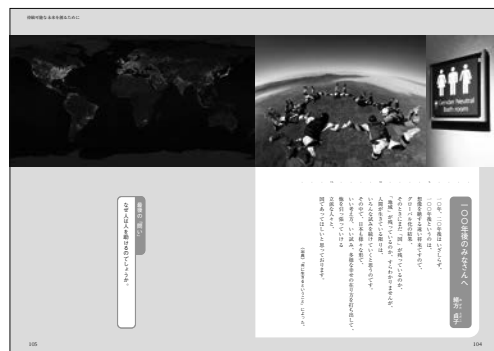
SDGs教材『持続可能な未来を創るために』を設けています。複数の文章を比較して読むことにより、論理的な思考力を高め、読みを深められるようにしています。また、多様な立場や考えを知り、交流をすることで対話力を高め、協働的な学びを実現します。

■情報活用の力と表現力を育てる情報・メディア教材

写真や広告などを扱う「情報・メディアと表現」を設けました。メディアの仕組みや工夫を学ぶことで、多様なテキストを評価したり、情報を活用したりすることができるようになっています。さらには得た情報を整理し、自分の考えを適切に伝える表現力を養います。

■他教科の学習や実生活に生きる活用例「学びを生かす」

「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材末尾に「学びを生かす」という項目を設けています。カリキュラム・マネジメントについて考慮しており、国語科での学びを、他教科等の言語活動で活用することによって、実生活に生きる力を育みます。



上 SDGs教材：P104・105『持続可能な未来を創るために』
中 情報・メディア教材：P190・191『映像作品の表現を考える』
下 「学びを生かす」：P85『相違点を明確にして聞く』

◆検討の観点と内容の特色

検討の観点	内容の特色
1 教育基本法・学習指導要領への対応	
①教育基本法	＊現代の諸課題に言葉の教育という側面から応え、新たな時代を切り拓いていくことのできる生徒を育てることを主眼としています。国語科として、生徒が言語活動をととして、人（他者）と交わりながら共に生きていく視点を持ち、自ら学び、自ら生きる力を培えることを目指しています。
②学習指導要領	＊言葉による見方・考え方ははたらかせ、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を高めるために、各領域等での教材を工夫しています。 ＊各単元や教材の目標、内容を明確に示し、3学年で系統的・段階的に学習が進められるよう構成しています。
2 教科書の構成と内容	
①全体の構成・配列	＊指導内容を螺旋的・反復的に繰り返して学力向上を図った指導ができるように、学年間と学年を通しての系統的な単元構成を意図しています。 ＊教科書全体を、必須・必修教材を中心に単元化した本教材（第1、2学年9単元、第3学年8単元）と、学習時期を柔軟に扱ったり、補充・参考として扱ったりする小教材、資料などとに分け、学習内容に応じて効率的、効果的に年間の学習計画が組み立てられるよう構成しています。 ＊1年間を通じて各領域等の教材を偏りなく配列し、定期考査など学習評価に際してもバランスが取れるようにしています。また、3学年で体系的に展開できるよう、前後の学年との単元構成を系統化しています。
②教材選定	＊未来の社会の担い手となる中学生が、現在、あるいは将来に向き合う、SDGsを踏まえた現代的な課題を積極的に取り上げています。 ＊以下のポイントを考慮した教材選定を行っています。 SDGsに基づく国語科の「不易」と「流行」／豊かな人間性・社会性／多様性への理解／生命の尊重／科学的・論理的な考察／環境教育・自然保護／国際協調や平和／豊かな情操・心の発達／安全・安心・防災／郷土や地域を愛する心／伝統的な言語文化／日本の伝承／勤労の意義とものづくり／食育／先達の言葉や生き方にふれる／情報活用／メディア・リテラシーへの対応／コミュニケーション力／実用的な文章／「読むこと」読書関連単元



③他教科等との関連	* SDGsも視野に入れた幅広い分野からの話題を取り上げ、他教科等の内容との連携について考慮しています。 * 表現に関する教材を中心に、他教科の学習に合わせて柔軟に取り組むことにより、他教科の学習を下支えすることができるよう考慮されています。他教科の学習という実際の言語活動に活用されることで、実の場で生きる言葉の力を育むことにも通じます。また、教材の末尾に「学びを生かす」の欄を設け、他教科や日常生活、社会生活などへの関連を示しています。 社会：歴史や公民に関する教材を掲載しています。裁判員制度に関する教材を掲載しています。 理科：自然や環境、最新の科学について話題にした教材を多く取り上げています。 道徳：教育基本法や学校教育法への対応を踏まえ、各領域・事項の教材で、生命・平和・友情・人権・福祉・環境・公共・心の発達などに関わる話題・題材を取り上げています。
④学習の系統性の重視	* 学習内容の明確化、焦点化を図り、学習の見通しをもたせるため、教材ごとに重点的に学ぶ事項を設定し、「学びナビ」「ヒント」「目標」などで示すことで、生徒が自らの学習を認識し、次の学習へと向かえるよう工夫しています。
⑤学習過程の明確化	* 「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、学習の過程が明確となるよう、学習の進め方と重点を教材の冒頭や学習活動の手順「学習活動の流れ」に明示し、目標で設定した重点的な指導事項と活動との対応も示しています。 * 「読むこと」教材では、学習の手引き「みちしるべ」において、主として「構造と内容の把握」を扱う「内容を捉えよう」、「精査・解釈」を扱う「読み深めよう」、「考えの形成・共有」と言語活動を扱う「自分の考えを伝え合おう」の3段階の学習のステップを提示し、目標で設定した重点的な指導事項との対応も示しています。
⑥言語活動の充実	* 「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、教材名や目標でも言語活動を明示し、さらに、「目標」「学習活動の流れ」で、学習の見通しと重点、言語活動を示しています。 * 「読むこと」教材の学習の手引き「みちしるべ」での「自分の考えを伝え合おう」で示される学習課題は、授業での言語活動として取り組むことを盛り込んでいます。
⑦読書に親しみ、生涯の読書生活への基盤を築く	* 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図ったり、インターネットなどを適正に活用したり、読書交流を行ったりする教材を全学年に設けています。 * 付録『言葉の自習室』では、読書作品として、多様な文種や話題の作品を掲載しています。また、巻末の見返しには『「ふるさと」を巡る』を設け、各都道府県を代表する作家と作品を写真とともに紹介し、読書へのいざないを図っています。 * 各単元の教材の内容に関連した図書を、単元ごとに『広がる本の世界』を設けて紹介しています。また、デジタル資料「まなびリンク」では、図書館司書の仕事や図書館活用と関連させた図書紹介を行っています。(教科書263冊+まなびリンク71冊=計334冊)
3 文字・表記・図版・資料	
①文字・活字・書体	* 活字は文字としての美しさと、点画など文字学習を考慮した書体を用いています。
②ユニバーサルデザインフォント	* 一部にユニバーサルデザインに対応した書体（ユニバーサルデザインフォント）や、デジタル機器で表示した際の視認性が向上した書体を採用しています。
③表記・表現	* 表記・表現については、3学年を通して基準を統一し、適切な表記の仕方・用法が身につくよう考慮しています。
④挿絵・図版・写真	* 挿絵・図版・写真は、生徒の学習意欲を高めるもの、文章の理解を助ける資料性の高いものや、生徒の想像を膨らませるイメージ豊かなもの、活動の手順や留意点をわかりやすく示すものなど、学習上必要なものを効果的に取り上げています。
4 特別支援教育や色覚特性などへの配慮	
①特別支援教育への対応	* 文字と、イラストや図表、模様などとの空きや重なりに注意したり、マークやデザインの使用を統一的に整理したりするなど、教材の重点に集中でき、内容が把握しやすいレイアウトを工夫しています。 * 各領域等の教材で、学習の見通しや授業過程、重点をおさえた教材化を図り、学習のユニバーサル化に対応しています。
②カラーユニバーサルデザイン	* 学年の基本色を設定し、統一的で落ち着いた色づかいとデザインを採用しています。 * イラストや図版は、内容が区別できるよう色づかいと色彩のバランスを考え、形のうえでも区別しやすいようにしたり、色による指示を含んだ設問や色に基づく活動を避けたりして、生徒の負担感をなくす工夫をしています。
5 デジタル機器を使用した学習への対応	
①「まなびリンク」(二次元コード)との連動	* 教材内容に応じて「まなびリンク」を設け、学習時に参照できる生徒の自学自習に資する資料や、参考図書、参考作品、動画・画像資料などを教育出版のウェブサイトで見られるようにしています。
②学習者用端末の活用	* 発達段階に応じた、学習者用端末を効果的に活用できる学習活動を設定しています。
③デジタル教科書・教材	* 教科書と同内容で、特別支援に資する機能を備えた学習者用デジタル教科書や、朗読音声や資料を追加した学習者用デジタル教材・指導者用デジタル教科書（教材）を発行します。
④デジタルへの対応	* デジタル教科書がより使いやすいものになるよう工夫しています。デジタル端末での視認性を考慮し、本文の行間を広げることで、ルビ等を見やすくしました。また、授業での利便性を高めるため、文の切り取り機能を加えました。
6 造本・印刷・デザイン	
①造本・印刷	* 表紙は堅牢で環境にやさしい特殊コーティングを採用。 * 紙は軽量ながら裏写りのない再生紙、印刷は植物を原料とした植物油インキを使用しています。
②紙面デザイン	* 学年の発達段階を踏まえ、1年生と2、3年生とでは、基本の字詰め・行数を変えるなどの工夫をしています。イラストや図表などと文字の空きも十分とり、識別しやすいようなレイアウトにしています。 * 文字と、イラストや図表、模様などとの空きや重なりに注意したり、マークやデザインの使用を統一的に整理したりするなど、教材の重点に集中でき、内容が把握しやすいレイアウトを工夫しています。

2. 対照表

該当箇所 (ページ)	図書の構成・内容	学習指導要領の内容				配当時数				
		知識 及び技能	思考力、判断力、表現力			知・技	話・聞	書く	読む	計
			話すこと ・聞くこと	書くこと	読むこと					
一 学びを広げる										
P16～20	《詩》虹の足 吉野弘	(1)エ			(1)イ (2)イ				1	1
P21	《話すこと・聞くこと》いろいろな立場や考えを踏まえる	(1)ア	(1)アイ (2)ア				1			1
P22～37	《小説》タオル 重松清	(1)エ			(1)アイ (2)イ				5	5
P38 P290～293	《文法の小窓・解説 1》活用のない自立語	(1)オ					2			2
P39～41	《書くこと》新聞の投書を書く	(2)イ		(1)ア (2)ア				5		5
P42・43	《漢字の広場 1》まちがえやすい漢字	(1)ウ					1			1
P46	《伝統文化》四季のたより 春 花	(3)ア								☆
二 論理を捉える										
P48～55	《説明》日本の花火の楽しみ 小野里公成	(2)ア			(1)アウエ (2)ア				3	3
P56～62	《説明》水の山 富士山 丸井敦尚	(2)ア			(1)アウエ (2)ア				4	4
P63～65	《話すこと・聞くこと》課題を設定して伝える	(2)ア	(1)イウ (2)ア				3			3
P66 P278～280	《言葉の小窓・解説 1》敬語	(1)アカ					1			1
P67～70	《書くこと》手紙・メールを整える	(1)カ		(1)エ (2)イ				5		5
P71	《言葉と社会 1》社会で求められる表現	(1)オ		(1)イウ (2)イ						☆
三 自己をひらく										
P74～81	《読書》夢を跳ぶ 谷真海	(3)エ		(1)ア (2)ア	(1)アイ (2)フ			2	1	3
P82 P281～283	《言葉の小窓・解説 2》話し言葉と書き言葉	(1)アイ					1			1
P83～85	《話すこと・聞くこと》相違点を明確にして聞く	(2)イ	(1)エ (2)ア				4			4
P86～90	《情報・メディアと表現》SNSから自由になるために 高橋暁子／脚本で動きを説明する	(1)ア (2)イ		(1)ア (2)フ	(1)イ (2)フ			1	1	2
P92・93	《漢字の広場 2》漢字の成り立ち	(1)ウ					1			1
P94	《伝統文化》四季のたより 夏 ほととぎす	(3)ア								☆
四 情報を捉える										
P96～105	《総合 (SDGs)》持続可能な未来を創るために——不平等のない社会を考える／「ここにいる」を言う意味 ロバート キャンベル	(2)アイ	(1)イ (2)イ	(1)ウ (2)ア	(1)エオ (2)アウ		1	1	1	3
P106～115	《説明》紙の建築 坂茂	(2)ア			(1)アイオ (2)ア				5	5
P117～119	《書くこと》構成を明確にして説明文を書く	(2)イ		(1)イ (2)ア				5		5
P120 P294～300	《文法の小窓・解説 2》活用のある自立語	(1)オ					2			2
P122	《伝統文化》四季のたより 秋 紅葉	(3)ア								☆
五 古典を楽しむ										
P124～133	《古文》敦盛の最期——平家物語——	(3)アイ			(1)ア (2)イ		4			4
P134～142	《古文》随筆の味わい——枕草子・徒然草——	(3)イ			(1)イオ (2)イ		3			3
P144～147	《漢文》二千五百年前からのメッセージ——孔子の言葉——	(3)ア			(1)アオ (2)イ		3			3
P148～163	《読書》坊っちゃん 夏目漱石	(3)エ			(1)アイ (2)イ		2			2
六 想像を広げる										
P166～173	《短歌》短歌の味わい 穂村弘	(1)エ		(1)エ (2)フ	(1)アイ (2)イ			1	1	2
P174～186	《小説》夏の葬列 山川方夫	(1)エ			(1)イエ (2)イ				6	6
P188～191	《情報・メディアと表現》映像作品の表現を考える	(2)イ			(1)イウ (2)イ				1	1
P192・193	《漢字の広場 3》漢字の多義性	(1)ウエ					1			1
七 関係を考える										
P196～207	《評論》ガイアの知性 龍村仁	(1)エ	(1)ア (2)イ		(1)アオ (2)ア		1		5	6
P209～211	《書くこと》確かな根拠をもとに意見文を書く	(2)ア		(1)フ (2)ア				5		5
P212～224	学びのチャレンジ	(1)エ		(1)アイウ	(1)イ					☆
八 考えと向き合う										
P226～234	《評論》学ぶ力 内田樹	(2)ア			(1)エオ (2)ア				4	4
P235～237	《話すこと・聞くこと》さまざまな考えを踏まえ討論をする	(2)ア	(1)オ (2)イ				5			5
P238	《言葉と社会 2》社会生活と言語コミュニケーション	(1)アイカ	(1)イオ	(1)イウ						☆
P239 P301～306	《文法の小窓・解説 3》付属語のいろいろ	(1)オ					2			2
P242	《伝統文化》四季のたより 冬 雪	(3)ア								☆
九 表現を味わう										
P244～247	《詩》豚 木坂涼	(1)エ			(1)イオ (2)イ				1	1
P248～268	《小説》走れメロス 太宰治	(1)エ			(1)アオ (2)イ				7	7
P269 P284～287	《言葉の小窓・解説 3》類義語・対義語・多義語・同音語	(1)エ					1			1
P270～273	《書くこと》「連作ショートショート」を書く	(1)エ		(1)オ (2)ウ				5		5
P274・275	《漢字の広場 4》同音の漢字	(1)ウエ					1			1

* 配当時数の「計」欄の☆印の教材は、適宜扱うものです。

* 授業時数の配分は、学校行事等を考慮し、ゆとりをもって作成しています。

* 表内の「学習指導要領の内容」の記載は、その教材の重点指導事項を中心に示しています。

計116時間（うち、話すこと・聞くこと15時間、書くこと30時間）